



事例紹介

i Smart Technologies株式会社



愛知県碧南市のi Smart Technologies(株)は「人には付加価値の高い仕事を」を実現するサービスを提供していきます。

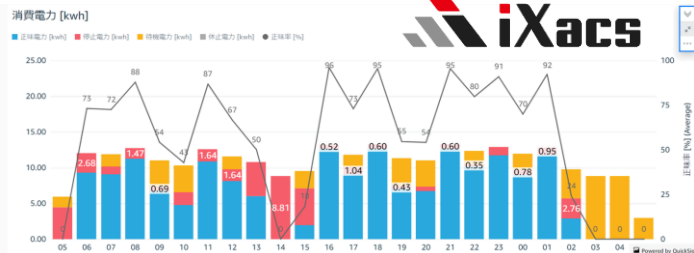


IoT × Kaizen = カーボンニュートラル(CN)化

CN取組の内容

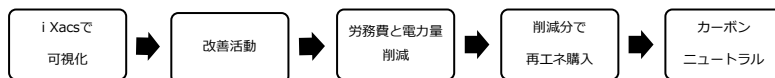
「iXacs」(※1)で製造ラインを見える化

旭鉄工ではカイゼン活動でムダを徹底的に省き年4億円の労務費と22%の電力使用量(1.2億円)を同時に低減、競争力強化とCNを両立。その核となるのがIoTシステムiXacsです。



※1) iXacs...i Smart Technologiesが開発したIoT技術を用いた生産数や停止時間、サイクルタイムを瞬時に把握できる製造ラインモニタリングシステム。これまで200社以上で導入実績のあるシステムにエネルギー使用量見える化機能を追加。工場全体、建屋別、製造ライン別、製品1個当たりなどのCO2排出量をリアルタイムで見える化可能。

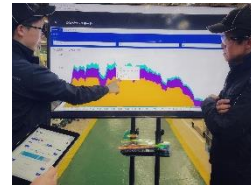
- ①昭和の機械にも対応
- ②稼働データとCO2排出量がリアルタイムで見える
- ③カイゼンノウハウに基づきデータを自動でグラフ化



カーボンニュートラルへのイメージ

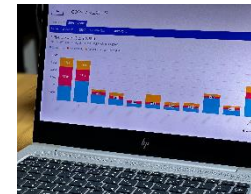
ここがポイント

IoTシステムと成功ノウハウの展開



旭鉄工(株)(※2)の労務費4億円と電力消費量22%削減で得たノウハウから改善を阻む「見ザル」「言わザル」「使わザル」を伴走支援で解決します。

※) 旭鉄工(株)・・・i STC(株)の母体となる会社。



現状の可視化

iXacsの導入により稼働時間と電力使用量を可視化。簡易な後付けセンサーでデータを収集。単なる数値の羅列ではなく、カイゼンノウハウで問題点を見える化。「見ザル」＝「問題が見えない」を解決します。

IoT改善塾でカイゼンノウハウを伝授



IoT改善塾では「言わザル」＝「情報共有できない」、「使わザル」＝「活用できない」を現場を知る改善特化コンサルが社内体制の構築や具体的なエネルギー削減のカイゼン手法の習得へ導きます。